2011年度第1四半期 決算公表参考資料

2011年7月29日

三菱商事株式会社

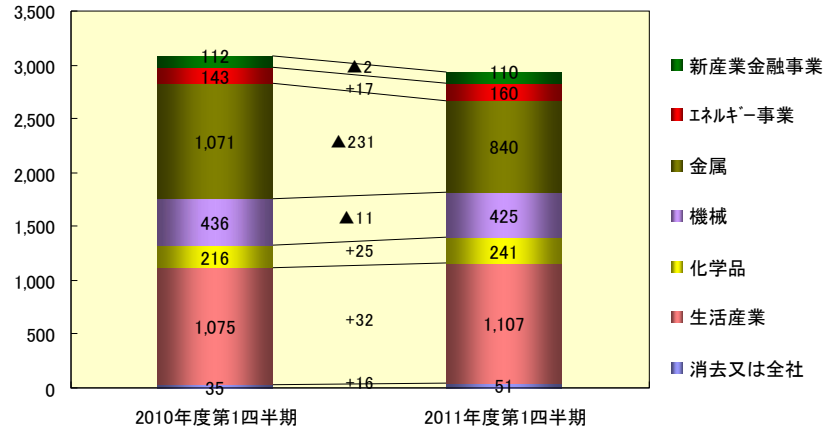
主要PL項目の前年同期比増減

（億円）	2010年度 第1四半期	2011年度 第1四半期	増減	増減率	2011年度 通期見通し
売　上　高	47,416	48,454	1,038	2%	205,000
売上総利益	3,088	2,934	▲ 154	▲ 5%	12,800
営業利益	1,051	842	▲ 209	▲ 20%	3,900
当期純利益	1,408	1,150	▲ 258	▲ 18%	4,500
基礎収益	1,598	1,600	2	0%	6,450

基礎収益＝営業利益(貸倒引当金繰入額控除前)＋利息尻＋受取配当金＋持分法による投資損益

（億円）

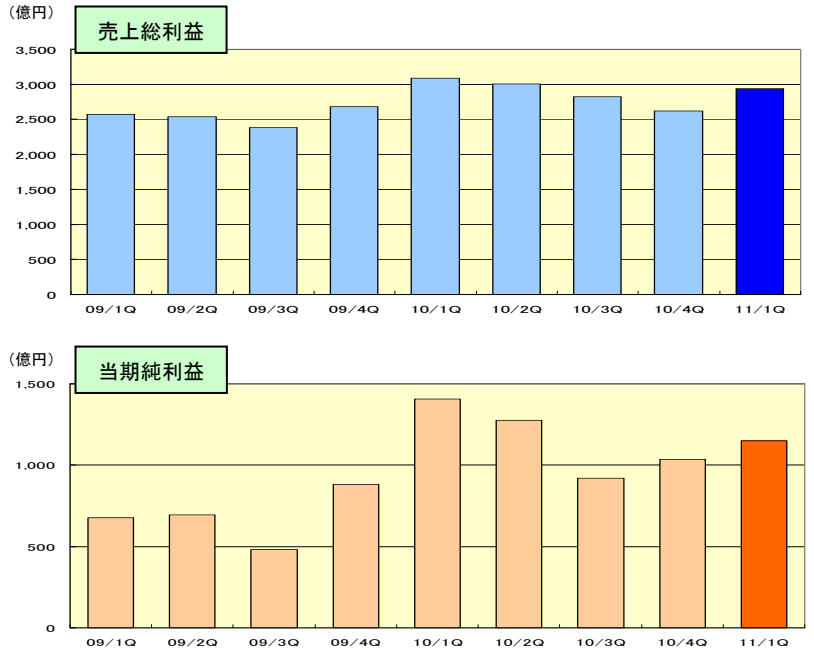
セグメント別売上総利益推移



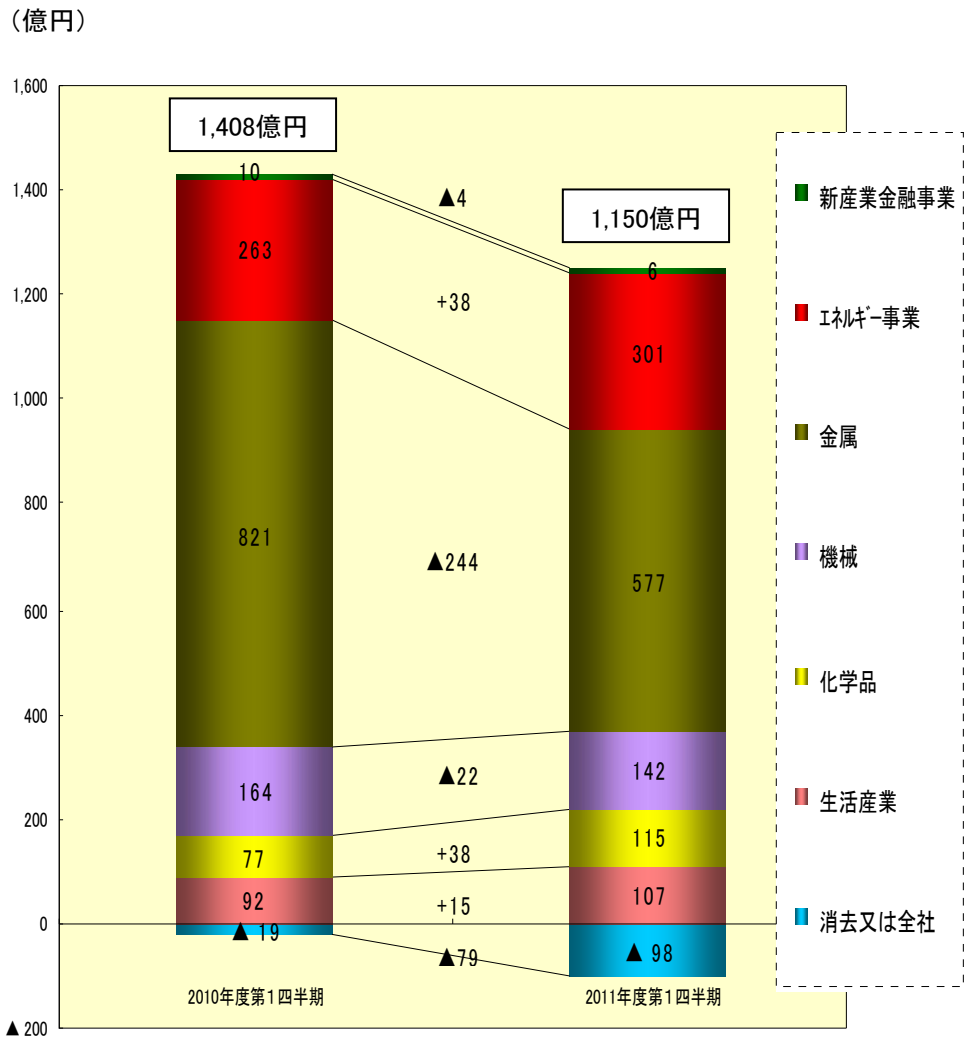
・本資料における「当期純利益」は、非支配持分を除く、当社株主に帰属する当期純利益の金額を表示しております。
また、「株主資本」も、非支配持分を除く、当社株主に帰属する資本の部の金額を表示しております。

・連結子会社における決算期の変更を反映させるため、過去の数値を遡及的に調整しておりますが、四半期毎の数値は、2010年度第1四半期のみに調整を反映させております。

過去のトラックレコード（四半期ベース）



セグメント別当期純利益の前年同期比増減



セグメント別増減理由

○**新産業金融事業（40%減益）**
物流関連事業収益の減少により、減益となったもの

○**エネルギー事業（14%増益）**
前年度の株式売却益計上の反動があったものの、海外資源関連投資先からの受取配当金の増加や、油価上昇に伴い、海外資源関連会社の持分利益増加などにより増益となったもの

○**金属（30%減益）**
前年度のチリ鉄鉱石関連子会社における株式交換益計上の反動、及び豪州資源関連子会社（原料炭）における販売数量減などにより減益となったもの

○**機械（13%減益）**
建設機械事業での利益増加があったものの、前年度の株式売却益計上の反動、及び主にアジアでの自動車事業における販売減や為替の影響などにより減益となったもの

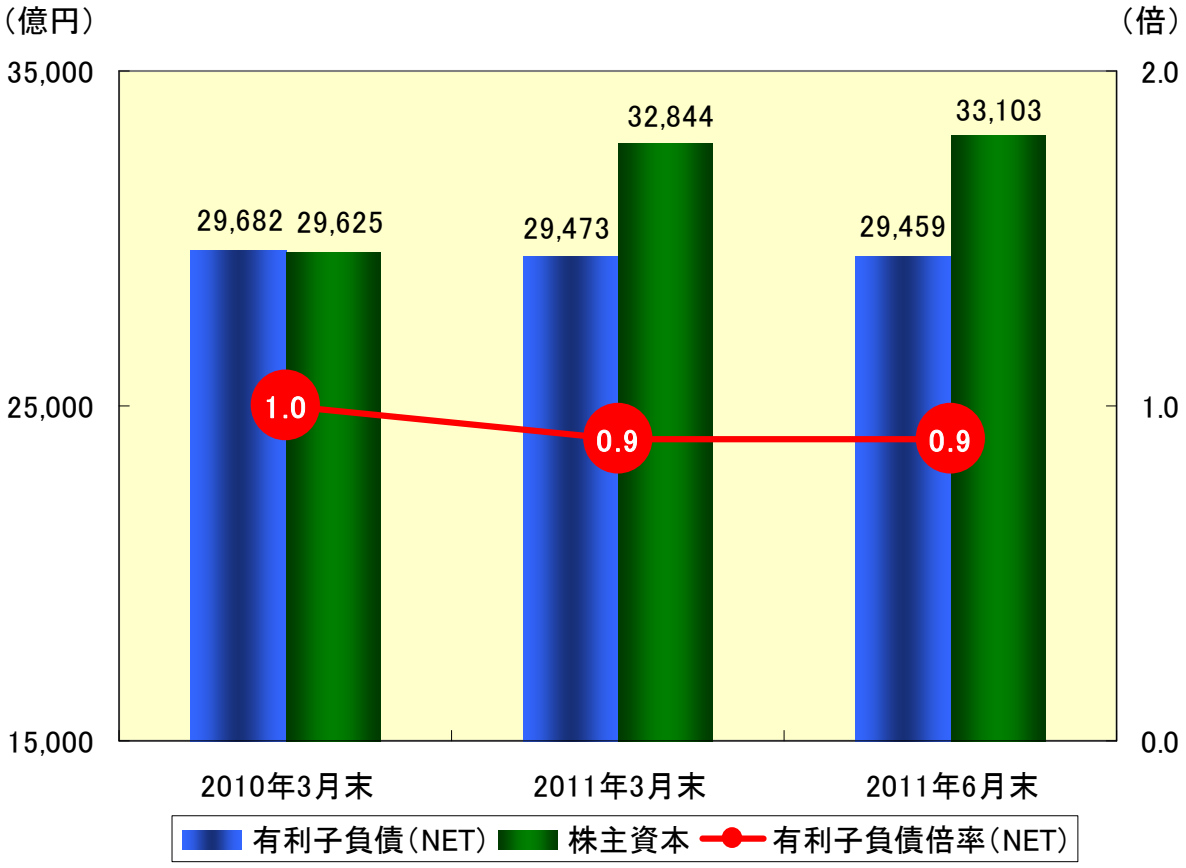
○**化学品（49%増益）**
親会社での取引好調による増益、及び石化事業関連会社などでの取引好調による持分利益増加などにより増益となったもの

○**生活産業（16%増益）**
主に国内の関連会社における震災関連損失の計上などによる持分利益の減少があったものの、食料関連子会社における取引利益の増加などにより増益となったもの

資源価格の推移

	2010年度 第1四半期	2011年度 第1四半期	増減
油価（ドバイ）($/BBL)	78.1	110.7	+32.6
銅価格（$/MT)	7,027	9,152	+2,125
アルミ価格（$/MT)	2,096	2,603	+507

株主資本と有利子負債の推移



主な株主資本増減要因
(2011年3月末比＋259億円)

①当期純利益の積み上がり
（ 1,150億円 ）

②配当金支払
（ ▲641億円 ）

③未実現有価証券評価益の減少
（ ▲238億円 ）
・・・主に海外銘柄の株価下落による
保有上場株式の含み益の減少

為替換算調整勘定への通貨種類別影響額

通貨種類	為替換算調整勘定への影響額（概算：億円）	2011年6月末レート	2011年3月末レート	（参考）2010年12月末レート
米ドル	0	80.73	83.15	81.49
豪ドル	50	86.47	86.08	83.13
ユーロ	0	116.84	117.57	107.90
ポンド	0	129.78	133.89	126.48
バーツ	▲ 50	2.62	2.75	2.70

市況の状況

為替・金利・商品市況の状況

	第1四半期の状況（4-6月平均）（a）	通期見通しの前提（b）	増減（a）-（b）	当期純利益に対する損益インパクト
為替（YEN/＄）	81.7	80.0	1.7	1円円安（高）につき年間25億円の増益（減益）インパクト
円金利（%）TIBOR	0.34	0.40	▲ 0.06	取引利益や投資利益により金利上昇の影響は相殺される部分が相当あるが、金利上昇が急である場合には一時的に影響を受ける。
US$金利（%）LIBOR	0.26	0.50	▲ 0.24	
油価（＄/BBL）（ドバイ）	110.7	92.0	18.7	$1上昇（下落）につき年間10億円の増益（減益）インパクト
銅地金（＄/MT）	9,152	8,378	774	$100上昇（下落）につき年間5億円の増益（減益）インパクト。但し、銅の価格変動以外にも、粗鉱品位、生産・操業状況、再投資計画（設備投資）等の要素からの影響も受けるため、銅の価格のみで単純に決定されるものではない。
アルミ地金（＄/MT）	2,603	2,400	203	$100上昇（下落）につき年間10億円の増益（減益）インパクト。但し、アルミの価格変動以外にも、生産・操業状況、電力コスト、為替変動等の要素からの影響も受けるため、アルミの価格のみで単純に決定されるものではない。

（※） 2011年5月10日に公表した通期業績見通し（当期純利益4,500億円）の前提

株価の影響（上場有価証券減損の状況）

	減損額（税引後）	期末日経平均株価
第1四半期計上	▲2億円	9,816円（2011年6月末）
通期見通し織込み額	▲100億円	日経平均10,000円レベルで発生する減損額を試算の上、織込み

（注意事項）本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。